

学校説明会

会場：高等学院講堂（上石神井）

各回の説明会終了後に、施設見学・個別質問会を予定しております。詳細は、WEBサイトをご覧ください。

高校

2019年 9月22日(日) 14:00～15:30
2019年 9月23日(月・祝) 14:00～15:30
2019年11月23日(土・祝) 14:00～15:30

中学

2019年 6月23日(日) 10:00～11:20
2019年 9月23日(月・祝) 10:00～11:20
2019年11月23日(土・祝) 10:00～11:20

公開行事

各行事の詳細は、WEBサイトをご覧ください。

高校 学院祭

2019年10月12日(土)13日(日)10:00～16:00(入場は15:00まで)

中学 学習発表会

2019年11月16日(土)

高校 学芸発表会

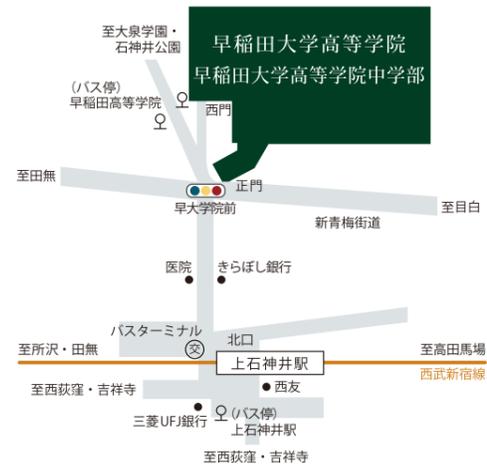
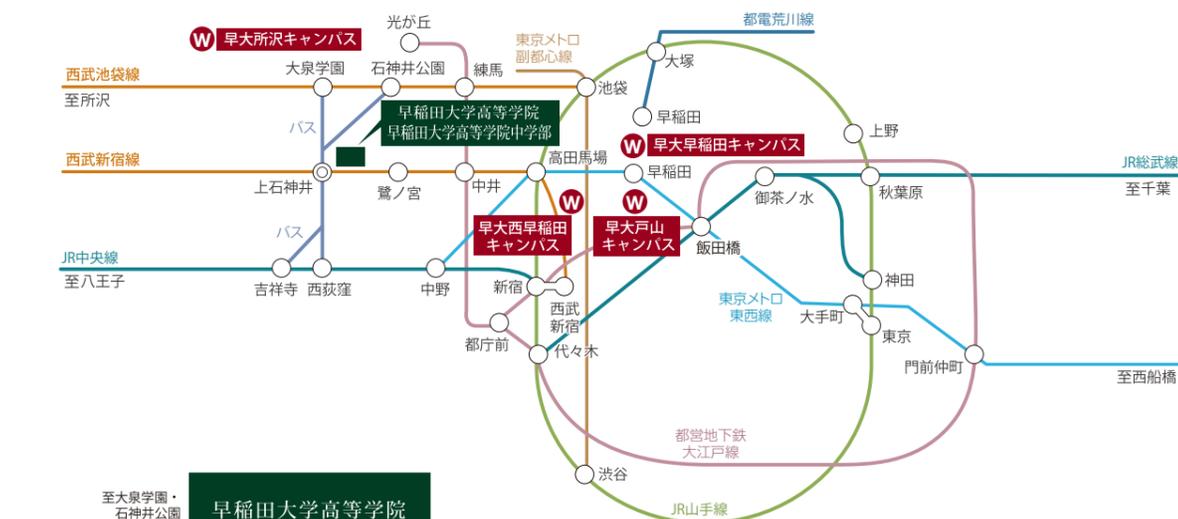
2019年11月16日(土)9:00～12:30

※詳細(公開時間等)は9月下旬にWEBサイトに掲載します。

学校見学

見学可能日時に、校舎・施設の外観をご覧いただくことができます(授業はご覧になれません)。見学希望の方は、WEBサイトで見学可能日時等を確認いただいた上で、ご来校ください。※防犯上の観点等から、教室や施設内をご見学いただくことはできません。

アクセス



電車 西武新宿線 上石神井駅(北口より 徒歩7分)
※JR山手線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」で西武新宿線に乗り換え
「上石神井駅」までの所要時間(急行・準急) 約12分(各駅停車) 約22分

バス 西武池袋線
・大泉学園駅南口より 上石神井駅行き 約20分(早稲田高等学院 下車)
西荻窪駅行き 約20分(早稲田高等学院 下車)
・石神井公園駅北口より 吉祥寺駅行き 約20分(早稲田高等学院 下車)

JR中央線
・西荻窪駅北口より 大泉学園駅南口行き 約20分(早稲田高等学院 下車)
上石神井駅行き 約15分(終点下車徒歩7分)
・吉祥寺駅北口より 成増町行き 約25分(早稲田高等学院 下車)



早稲田大学高等学院



早稲田大学高等学院中学部



早稲田大学高等学院
早稲田大学高等学院中学部
School Guide 2020

Step into the Future —

早稲田大学高等学院は、早稲田大学建学理念に基づき設置された学校であり

卒業生全員に、早稲田大学へと進む道が約束されています。

つまりここには、受験にとらわれない“学びの自由”があります。

自らの探究心に沿って、勉強やクラブ活動に思う存分に打ち込みながら、

それぞれが思い描く未来への道を切りひらいて行くことができます。

ようこそ高等学院へ。ここからあなたも、^{わせだじん}早稲田人の一人です。

 早稲田大学校歌
坪内逍遙／校詞 相馬御風／作詞 東儀鉄笛／作曲

- 一 都の西北 早稲田の森に 聳ゆる薨は
われらが母校 われらが日ごろの
抱負を知るや 進取の精神 学の独立
現世を忘れぬ 久遠の理想
かがやくわれらが 行手を見よや
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ
- 二 東西古今の 文化のうしほ 一つに渦巻く
大島国の 大なる使命を 担ひて立てる
われらが行手は 窮り知らず やがても久遠の
理想の影は あまねく天下に 輝き布かん
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ
- 三 あれ見よかしこの 常磐の森は
心のふるさと われらが母校
集り散じて 人は変れど 仰ぐは同じき
理想の光 いざ声そろへて 空もとどろに
われらが母校の 名をばたたへん
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

Contents

- | | |
|---------------------------------|---|
| 02 学院長メッセージ | 14 クラブ活動 |
| 03 早稲田大学・高等学院史 早稲田大学への進学 | 16 OB メッセージ |
| 04 早稲田大学高等学院 | 17 図書室 |
| 06 総合的な探究の時間 | 18 早稲田大学高等学院中学部 |
| 07 大学準備講座・自由選択科目 高大一貫教育の推進 | 20 各科教育目標 |
| 08 理数系教育の充実・情報教育の徹底・ 教員メッセージ | 21 大学との関わり・研究について |
| 09 第二外国語の必修・実践的な英語教育 | 22 主要学校行事 |
| 10 研究・探究活動の奨励 | 24 宿泊研修・学習発表会・校外学習 |
| 11 留学と国際交流 | 25 クラブ活動 |
| 12 さまざまな活動 | 26 CAMPUS MAP |
| 13 主要学校行事 | 28 入試概要／統計／学費・奨学金 学校概況／入試要項（願書）の入手方法 |

Message from the Principal

エラーからトライへ

寛容な環境とアカデミックな探究心が
挑戦を生む



学院長
本杉 秀穂 Motosugi Hideho

多感でエネルギーにあふれ、未知の可能性に恵まれた青春期の若者が、直接顔を合わせて集う早稲田の杜。しかも、受験によって枠づけられてしまう状況と決定的に異なる大学附属校という環境。さらに、早稲田大学教旨にいう「学問の独立」、すなわち何ものをもおそれない「自由討究」によって、世界の人々とともに「真理」を追究し世界の平和に貢献する、という学風と伝統を有する早稲田大学と一体の空間と時間。これが皆さんの学び舎になります。

この時間と空間、同世代の集いのなかで、何をしますか？何をすべきですか？それは、挑戦です、トライすることです。挑戦し打ち込んでみることです。早稲田大学教旨にいう「学問の活用」、すなわち実践のあるところに真理探究もあるのです。知識を獲得することは、それを単に脳のひだに納めておくことではありません。何かを生み出し、世の中に活かし、変える何かを生み出すこと、これが「学問の活用」であり実践です。皆さんの挑戦を待つ問題は、世界に充ち満ちています。社会の問題、科学の問題、文化の問題、自然の問題、身近な人間の問題等々未だ答えのない問題が、皆さんの知的活動に裏打ちされた挑戦を待っています。社会的な実践を伴う挑戦だけを指しているのではありません。未解決の問題に知的に挑戦することこそが、本質と言うことができます。

同世代が集うことの意味もここにあります。ペクトルを異にする様々な能力、持ち味、問題意識、個性が切磋琢磨する場、仲間の異質さと優秀さに刺激され、それを認め、別な面での己の異質さと優秀さを育て発揮し認め合う、このような開放的な多様性、多様な個性の挑戦が顕現する場、これこそが早稲田大学高等学院のあり方です。

学校は皆さんの挑戦をサポートしていきます。一つは、皆さんの未知なる問題への挑戦を、伝統的な早稲田の学風—自由—がサポートします。これは、「寛容」と言い換えても良いでしょう。答えの未だ明らかでない問題への挑戦は、リスクを伴うものです。失敗、エラーの危険と裏腹のものです。失敗が許されない環境では、挑戦も許されません。リスク・テイクする自覚が、責任意識も自律の精神も生み出します。私たちは、自由の学風に裏打ちされた寛容をもって、皆さんの挑戦をサポートします。そして、エラーから学んでより大きな挑戦に進む、タフに挑戦し続ける皆さんを応援します。

二つは、アカデミックなサポートです。高等学院では、未知の学問的な問題を熱心に探究している研究心を有する教員が教鞭を執っています。アカデミックに問題を探究する挑戦をしているという点で、皆さんと共通項を持っているのです。深い教養、鋭い研究心と能力が育成される環境、これが、皆さんの挑戦をより意味あるものにする助けになるでしょう。

皆さんが、学び、学びを世の中に活かし、変える何かを生み出す材料となるものを獲得してもらえるように、高等学院は努めています。

後のページに、学院生がいかに学びの場を身近から世界にまで拡げ、知的な活動に裏打ちされた挑戦をしているか、また、学校のサポートがいかなるものか、語られています。とはいえ、早稲田大学高等学院も時代の新しい変化の中で、新たな挑戦、自己変革の挑戦のただ中にあります。皆さんが、その変革と挑戦とともに挑んでくれることも期待しています。学び、挑戦しましょう。エラーをおそれることなく、アカデミックな探究心をもって果敢なトライへ。

早稲田大学教旨 (大正2年/昭和24年改訂)

早稲田大学は学問の独立を全うし学問の活用を効し模範国民を造就するを以て建学の主旨と為す
早稲田大学は学問の独立を主旨と為すを以て之が自由討究を主とし常に独創の研鑽に力め以て世界の学問に裨補せん事を期す
早稲田大学は学問の活用を主旨と為すを以て学理を学理として研究すると共に之を實際に応用するの道を講じ以て時世の進運に資せん事を期す
早稲田大学は模範国民の造就を主旨と為すを以て個性を尊重し 身家を発達し国家社会を利済し併せて広く世界に活動す可き人格を養成せん事を期す

高等学院教育目的 (昭和24年)

本学院は、早稲田大学建学の精神に基づき、中学校における教育の基礎の上に高等普通教育を施し、一般的教養を高め、健全な批判力を養い、国家及び社会の形成者として有為な人材を養成するとともに、更に進んで深く専門の学芸を研究するに必要な資質を育成することを目的とする。

高等学院中学部教育目的 (平成21年)

本学院中学部は、早稲田大学建学の精神に基づき、初等教育の基礎の上に高等学院、大学各学部へつなげる前期中等教育を施し、健やかな心身、高い知性、豊かな感性を育み、社会に有為な人材を育成することを目的とする。



早稲田大学創設者 **大隈 重信**
1838年肥前藩 (現在の佐賀県) に生まれる。中央政府に参画し、明治14年の政変で野に下った後、立憲進党を組織。2度にわたり首相となる。「報知新聞」「新日本」「大観」などを創刊、該博な知識と壮大な理想、自由闊達な人柄で広く民衆の人気を集める。1922年没。

早稲田大学・高等学院史

| | | |
|--|---|---|
| 明治15年(1882) 大隈重信による本大学の前身「東京専門学校」創設 政治経済学科、法律学科、理学科、英学科の4学科を設置 | 25年(1950) 早稲田大学附属早稲田高等学院を早稲田大学高等学院に改称 | 11年(1999) 新制高等学院設立50周年記念式典 |
| 23年(1890) 文学科を増設 | 26年(1951) 新制早稲田大学大学院6研究科(修士課程)設置 | 12年(2000) 大学院国際情報通信研究科設置 |
| 31年(1898) 第一次大隈内閣発足 | 28年(1953) 新制早稲田大学大学院6研究科(博士課程)設置 | 13年(2001) 大学院日本語教育研究科設置 |
| 33年(1900) 初の海外留学生(2名)を派遣 | 31年(1956) 高等学院 練馬区上石神井に移転 | 15年(2003) スポーツ科学部設置/大学院情報生産システム研究科設置/大学院公共経営研究科設置/川口芸術学校開校 |
| 35年(1902) 早稲田大学と改称、政治経済学科、法学科、文学科を置く | 41年(1966) 社会科学部設置 | 16年(2004) 国際教養学部設置/大学院法務研究科設置/大学院ファイナンス研究科設置 |
| 36年(1903) 高等師範部を新設、早慶野球戦開始 | 43年(1968) 第二理工学部廃止、第一理工学部を理工学部へ改称 | 17年(2005) 大学院会計研究科設置 |
| 37年(1904) 「専門学校令」による大学となる。商科を増設 | 48年(1973) 第一政治経済学部新聞学科および自治行政学科、第二政治経済学部、第二法学部、第二商学部を廃止、第一政治経済学部を政治経済学部、第一法学部を法学部に、第一商学部を商学部に改称 | 18年(2006) 大学院スポーツ科学研究科設置 |
| 40年(1907) 校歌制定 | 54年(1979) 新制高等学院設立30周年記念式典 | 19年(2007) 創立125周年記念式典、本庄高等学院共学化/第一・第二文学部を文化構想学部・文学部に、理工学部を基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部に改組/理工学研究科を基幹理工学研究科・創造理工学研究科・先進理工学研究科に改組/大学院環境・エネルギー研究科設置 |
| 41年(1908) 高等予科の授業を開始 | 57年(1982) 創立100周年記念式典、本庄高等学院開校 | 20年(2008) 大学院教職研究科設置 |
| 42年(1909) 理工科を増設 | 62年(1987) 人間科学部設置 | 22年(2010) 早稲田大学高等学院中学部開設 |
| 大正3年(1914) 第二次大隈内閣発足 | 平成2年(1990) 大学院教育科学研究科設置 | 25年(2013) 大学院国際コミュニケーション研究科設置/グローバルエデュケーションセンター設置 |
| 9年(1920) 「大学令」による大学となり、政治経済学部、法学部、文学部、商学部、理工学部が発足 旧制早稲田大学早稲田高等学院を設置 | 3年(1991) 大学院人間科学研究科設置 | 28年(2016) 大学院経営管理研究科設置 |
| 昭和2年(1927) 大隈記念大講堂落成 | 6年(1994) 大学院社会科学部研究科設置 総合学術情報センター開館 | |
| 24年(1949) 新制早稲田大学11学部(第一・二政治経済学部、第一・二法学部、第一・二文学部、教育学部、第一・二商学部、第一・二理工学部)設置/ 新制早稲田大学附属早稲田高等学院開校 | 7年(1995) 理工学総合センター開館 | |
| | 9年(1997) アジア太平洋研究センター設置 | |
| | 10年(1998) 大学院アジア太平洋研究科設置 | |

早稲田大学への進学 2019年3月卒業生

| 学部・学科等 | 進学者数 | 学部・学科等 | 進学者数 | 学部・学科等 | 進学者数 |
|-------------|------|------------|------|------------|------|
| 政治経済学部 | 110 | 理学科地球科学専修 | 0 | 社会環境工学科 | 11 |
| 政治学科 | 38 | 数学科 | 1 | 環境資源工学科 | 3 |
| 経済学科 | 50 | 複合文化学科 | 2 | 先進理工学部 | 39 |
| 国際政治経済学科 | 22 | 商学部 | 45 | 物理学科 | 1 |
| 法学部 | 85 | 基幹理工学部 | 47 | 応用物理学科 | 6 |
| 文化構想学部 | 32 | 学系Ⅰ 数学科 | 2 | 化学・生命化学科 | 0 |
| 文学部 | 16 | 学系Ⅱ 応用数理学科 | 20 | 応用化学科 | 11 |
| 教育学部 | 19 | 機械科学・航空学科 | 25 | 生命医科学科 | 6 |
| 教育学科教育学専修 | 3 | 電子物理システム学科 | | 電気・情報生命工学科 | 15 |
| 教育学科生涯教育学専修 | 0 | 情報理工学科 | | 社会科学部 | 30 |
| 教育学科教育心理学専修 | 1 | 情報通信学科 | | 人間科学部 | 1 |
| 教育学科初等教育学専攻 | 1 | 学系Ⅲ 情報理工学科 | 25 | 人間環境科学科 | 0 |
| 国語国文学科 | 2 | 情報通信学科 | | 健康福祉科学科 | 0 |
| 英語英文学科 | 0 | 表現工学科 | | 人間情報科学科 | 1 |
| 社会科地理歴史専修 | 3 | 創造理工学部 | 46 | スポーツ科学部 | 3 |
| 社会科公共市民学専修 | 2 | 建築学科 | 12 | 国際教養学部 | 6 |
| 理学科生物学専修 | 4 | 総合機械工学科 | 4 | 合計 | 479 |
| | | 経営システム工学科 | 16 | | |

※所定の基準を満たす卒業生は全員、早稲田大学に進学できます。

早稲田大学 高等学院

Senior High School

それぞれの 思い描く未来へ

高等学院では、高・大一貫教育のもとに、健康と知性の育成、豊かな人間形成を目指しています。

学院生には、将来、早稲田大学へ進学し、深く専門の学芸を研究するために必要な資質としての知的好奇心や知的探究心が求められており、そのために、独自の教育課程を編成しています。



教育課程 週6日制

*印は1科目選択

■ 生活時間(通年)

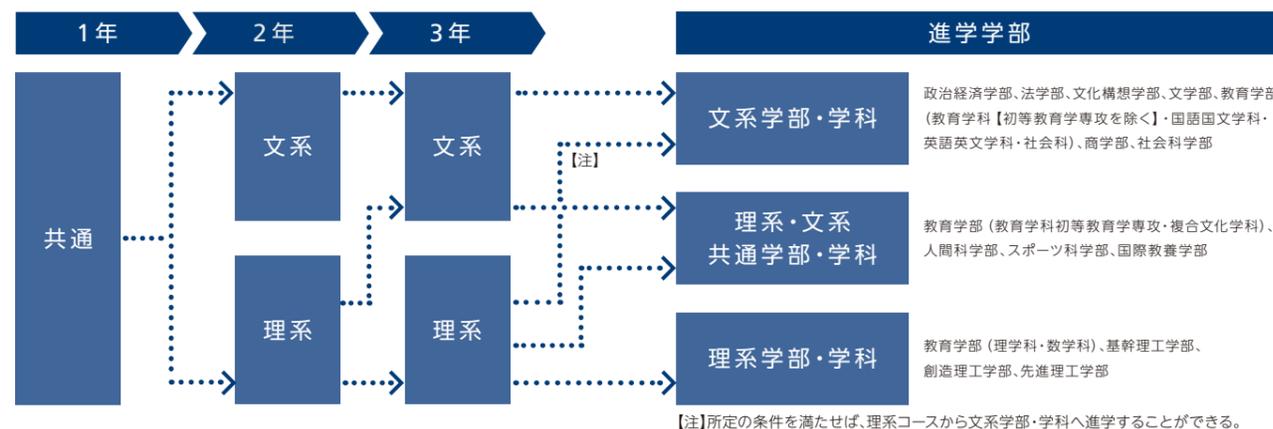
| | |
|-------|-------------------------------------|
| 第1時限 | 8:40 ~ 9:30 |
| 第2時限 | 9:40 ~ 10:30 |
| 第3時限 | 10:40 ~ 11:30 |
| 第4時限 | 11:40 ~ 12:30 |
| (昼休み) | 12:30 ~ 13:10 |
| 第5時限 | 13:10 ~ 14:00 |
| 第6時限 | 14:10 ~ 15:00 |
| クラブ活動 | 4 ~ 9月 ~ 18:00* 10 ~ 3月 ~ 17:00* |

※クラブ活動は申請により1時間の延長が認められます。
※土曜日は第4時限までとなります。

| 教科 | 1年次科目 | 単位 | 2年次科目 | 単位 | 3年次科目 | 単位 |
|-----------|-------------------------|----|-----------------------------|----|---------------------------------|----|
| 国語 | 国語総合 現代文 | 2 | 現代文B(前) | 2 | 現代文B(後) | 2 |
| | 国語総合 古典 | 2 | 古典B(前) | 2 | 古典B(後) | 1 |
| 地理歴史 | 世界史A | 2 | | | | |
| 公民 | 倫理 | 2 | | | 政治・経済 | 2 |
| 数学 | 数学I | 3 | 数学II(a) | 2 | | |
| | 数学A | 2 | 数学II(b) | 2 | | |
| 理科 | 物理基礎 | 2 | 生物基礎 | 2 | | |
| | 化学基礎 | 2 | 地学基礎 | 2 | | |
| 保健体育 | 体育 | 2 | 体育 | 2 | 体育 | 3 |
| | 保健 | 1 | 保健 | 1 | | |
| 外国語 | コミュニケーション英語I(a) | 2 | コミュニケーション英語II(a) | 2 | コミュニケーション英語III(a) | 1 |
| | コミュニケーション英語I(b) | 1 | コミュニケーション英語II(b) | 1 | コミュニケーション英語III(b) | 2 |
| | 英語表現I | 2 | 英語表現II(前) | 2 | 英語表現II(後) | 2 |
| | ドイツ語I・フランス語I・ロシア語I・中国語I | 3* | ドイツ語II・フランス語II・ロシア語II・中国語II | 3* | ドイツ語III・フランス語III・ロシア語III・中国語III | 2* |
| 家庭 | 家庭基礎 | 2 | | | | |
| 情報 | 社会と情報(前) | 1 | 社会と情報(後) | 1 | | |
| 芸術 | 音楽I・美術I・書道I | 2* | | | | |
| 選択科目 | | | 文理コース別選択 | 8 | 文理コース別選択 | 11 |
| | | | 自由選択科目 | | 自由選択科目 | 2* |
| | | | 大学準備講座 | | 大学準備講座 | 2* |
| 総合的な探究の時間 | | | 総合的な探究の時間 | 1 | 総合的な探究の時間 | 1 |
| ホームルーム | | 1 | | 1 | | 1 |
| 合計 | | 34 | | 34 | | 32 |



2年次からのゆるやかな文・理コース制



2・3年次選択科目

高等学院を卒業した生徒は早稲田大学の各学部へ進み、それぞれ専門の分野を修めていくことになります。選択科目は、そうした将来に向けて生徒自身が学問に対する探究意欲を持ち、自己の適性や興味を考えながら深く幅広い学力を身に付けることができるように、2・3年次に設置されています。

文・理コース別選択科目 *印は1科目選択

■ 2年次(計8単位)

| 文系 | | 理系 | |
|------------------|----|-------|----|
| 科目 | 単位 | 科目 | 単位 |
| 日本史B(a) | 2 | 物理(前) | 2 |
| 日本史B(b) | 2 | 化学(前) | 2 |
| 地理A | 2 | 数学B | 2 |
| 現代文A・学校設定科目 英語応用 | 2* | 日本史A | 2 |

■ 3年次(計11単位)

| 文系 | | 理系 | |
|---------------|----|--------------|----|
| 科目 | 単位 | 科目 | 単位 |
| 世界史B・地理B | 3* | 数学III(b) | 2 |
| 数学III(a) | 3 | 数学III(c) | 2 |
| 古典A | 2 | 物理(後) | 2 |
| 第二外国語IV | 2 | 化学(後) | 2 |
| 学校設定科目 国語表現演習 | 1 | 学校設定科目 生物学通論 | 2 |
| | | 学校設定科目 物理応用 | 1 |

知的探究心を育み知的探究力を培う

— 「問題発見」から「卒業論文作成」まで 総合的な探究の時間 —

「総合的な探究の時間」では、未解決・未発見の問題に果敢に挑戦して本質的な問いを見出そうとする知的探究心を育むとともに、自然科学系・データサイエンス系・社会科学系・人文科学系など様々な専門分野に応じた「課題を発見し、問いを立てるまでのプロセス」を体験的に学ぶことで、多岐にわたる問題に挑戦する過程に必要な情報収集・分析・仮説を立てて論証・考察できる知的探究力を磨きます。さらに、少人数のゼミ活動で発表や議論を経て論文として世に提案するところまで2年間かけて挑戦します。「総合的な探究の時間」は、答えのない問題にも解決策を示せる「たくましい知性」や、多様な価値観に敬意を持って接する「しなやかな感性」を身につけ、いわば不透明な時代を主体的に切り拓いていく力を培う知的挑戦の場です。



4クラスから各5名

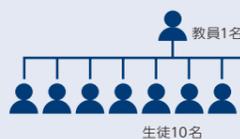
5名 5名 5名 5名

2年次

1ゼミ20名

- 情報を集め、学術的な課題から研究テーマを決める
- 先行研究や事例から研究テーマに関する理解と知識を深める
- 深めた理解と知識を基に具体的なリサーチクエストを設定する
- リサーチクエストの答となる仮説を立てる
- 研究方法を学び、研究計画を立てる
- 仮説を検証するための調査・観察・実験を実施し、それを基に考察する
- 課題研究で得られた知見を他者と共有する(口頭発表、論文など)

これからの時代を生き抜くために
必要な力を身につける



卒業論文の執筆に取り組む(12,000字以上)

- 各自が興味を持つ問題〜テーマを設定
- 授業は教員1名に生徒10名のゼミ形式
- 他ゼミと合同の中間発表会を行う
- 2年生を対象とした卒業論文発表会を行う

3年次

優秀論文の題目一覧

『早稲田大学高等学院 論文・作品集 (2018年度)』に掲載された卒業論文の題目です

フランスにおける「非」多文化主義政策 — ライシテの限界と可能性 —
第一次世界大戦と日本 — 黄禍論と諷刺画の視点から —
アイデンティティ政治における言語政策の展望
久保克彦と無言館 — 戦没画学生を巡る記憶の継承 —
「堺公方」足利義維政権の正当性に関する考察
日本人の「無宗教観」と国民性・組織論 — 「中空構造」から —
超軽量・柔軟な導電性高分子ナノシートを用いた植物葉の生体電位測定
戦国時代の地域社会の成り立ちとその役割の考察
学方面における男女別学の優位性 — おおたとしまさの主張の問題点への指摘 —
日本弾道ミサイル防衛のあるべき姿
育児ネグレクトと地域交流の重要性
日本の活字メディアと報道被害の現状 — 報道被害を生まないための処方箋
クワクワアリガヒトスジシマカ(メス)に与える致死的影響



特色のある選択科目、大学準備講座と自由選択科目

— 建学の理念「学問の独立」「学問の活用」を目指して —

高等学院では、2・3年次の「文・理コース別選択科目」の他に、特色のある選択科目を設置し、高校の学習内容にとどまらない授業を展開しています。それが3年次において履修する「大学準備講座」および「自由選択科目」です。その中には、学部生に交じって大学で講義を受ける授業や、大学教員が学院に来て講義を行う授業も含まれています。生徒は学部への進学をイメージしながら、それぞれの興味と関心をもとに、学びたい授業をそれぞれ1科目履修します。



大学準備講座 (2019年度開講)

論文のための文章講座
プレゼンテーションセミナー
現代世界の諸問題
現代史特論
法学特論
グローバル政治経済特論
グローバルビジネス入門
理工線形代数
基礎数学α
基礎数学β
理工学特論
現代の生命科学
数理物理
基礎物理
化学1
エネルギー・環境概論
建築素描
TOEFL-TOEIC 演習α
TOEFL-TOEIC 演習β
English Conversation
基礎英語α
基礎英語β
グローバルに活躍するためのフランス語
ドイツ語演習
中国語演習
経済系の数学リテラシー

自由選択科目 (2019年度開講)

文学!?
演劇ワークショップ
「古代文明」と考古学-インカ帝国研究入門
地域資源と地理学
国際社会学
思想研究
解析数論入門
「数」の基礎
プロジェクト・リサーチ
バイオサイエンス特講
理工系のためのプログラミング入門
化学2
応用地球科学
バスケットボール
サッカー
トレーニング理論及び実技
音楽
美術・工芸
書—古典臨書から自己表現の追求へ—
食品科学
Advanced Reading, Writing and Discussion
初心者のためのフランス語・フランス文化
ロシア語日会話
ドイツ語入門
中国語入門
グローバルに活躍するための統計学入門

高大一貫教育の推進

学部進学説明会

基幹・創造・先進の理工3学部では、西早稲田キャンパスで、毎年6月に学部教員による学部説明会が開催されます。また9月には各学部(理工3学部以外)から教員を招いて、高等学院で、学部説明会を開催します。いずれも生徒・保護者が対象です。生徒にとっては自身の進路を考える機会であるとともに、早稲田大学について知る機会にもなっています。

大学正規授業の履修

早稲田大学グローバルエデュケーションセンターの設置科目には、高校生の聴講が認められている科目があります。毎年100名近くの学院生が、この制度を利用して大学正規授業を履修しています。なお、修得単位は、先取り単位として、学部進学後に認定されるものもあります。

大学教員による授業

3年生が履修する大学準備講座や自由選択科目には「理工学特論」や「文学!?!」のように、大学教員が中心となって授業を行う科目が設置されています。それぞれの分野における最先端の知見を得ることができる授業です。

モデル講義

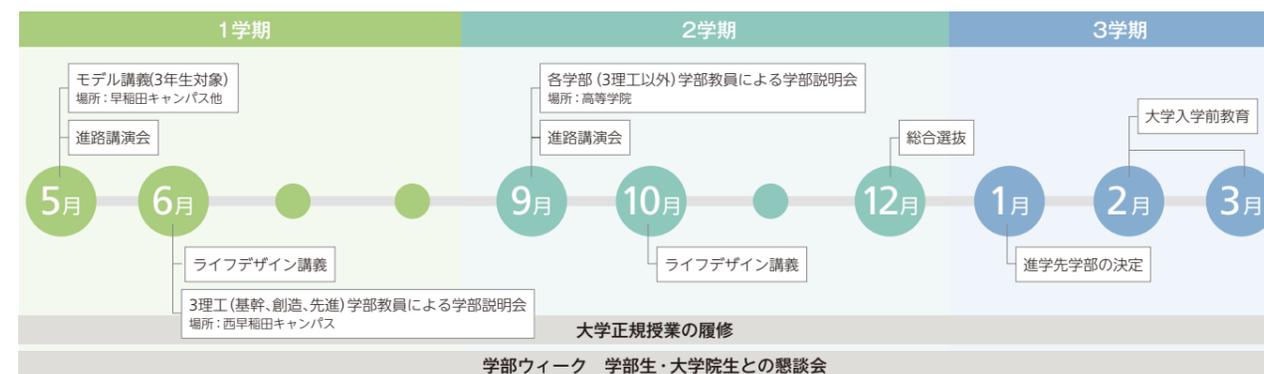
毎年5月に3年生を対象にして、早稲田大学の各キャンパスで実施されます。進学を希望する学部への理解を深めるとともに、学部進学への動機付けとして重要な役割を担っています。

学部生・大学院生との懇談会

高等学院OBの学部生・大学院生を中心に、各学部における大学生活や研究活動について、学院生と懇談する機会を設けています。学院生にとっては、数年先の将来像をイメージするのに大いに役立っています。

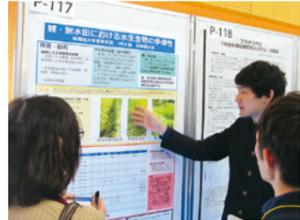
その他

法学部の教員と連携して「模擬裁判」を毎年実施しています。また卒業論文作成において大学の実験施設を利用することや、大学教員から指導や助言を受けることもあります。



理数系教育の充実

高等学院は、科学技術や理科・数学教育を重点的に行う文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)として、過去10年間にわたり幅広い取り組みを展開してきました。その間に蓄積されたノウハウを基に、カリキュラムやプロジェクトをさらに充実させ、継続して理数系教育の強化を図っています。課題研究に取り組む生徒や、科学技術オリンピックに挑戦する生徒へのサポートに加え、サイエンス研究に取り組む高校生約350名が集って研究成果を発表し合い、一流研究者の助言も得られる「首都圏オープン」も主催して、切磋琢磨の場を創出しています。



科学コンテスト・学会発表の主な受賞歴

| | |
|-------|--|
| 2006年 | 日本地質学会 優秀賞 |
| 2008年 | 日本水産学会春季大会 最優秀賞 |
| 2010年 | 第54回日本学生科学賞東京都大会 最優秀賞 |
| 2013年 | SKYSEF2013 (21世紀の中学生による国際科学技術フォーラム) 環境部門 第1位 |
| 2014年 | 日本物理学会ジュニア部門 審査員特別賞 化学グランプリ本選 銅賞 |
| 2015年 | 生物学オリンピック本選 銅賞 |
| 2016年 | 日本物理学会ジュニア部門 審査員特別賞 |
| 2017年 | 日本学生科学賞 東京都大会 優秀賞 日本物理学会ジュニアセッション 最優秀賞 |
| 2018年 | サイエンスキャッスル関東大会 最優秀賞、優秀賞、優秀ポスター賞 |

情報教育の徹底

高等学院では、早稲田大学のネットワーク環境を利用できるWaseda IDを全生徒が取得しています。授業においては、教科「情報」やコンピュータ関連の選択科目ではもちろん、「総合的な探究の時間」におけるプレゼンテーションや卒業論文作成においてもコンピュータを活用しています。また、放課後や休日に開放されるコンピュータ教室は、レポートや課題の作成、メールや早稲田大学授業支援ポータルサイトでの課題提出などに利用されています。AIの時代を見据え、プログラミングや統計データの活用などを取り入れたカリキュラム編成など、新しい試みを進めています。



教員からのメッセージ

天高くそびえる櫟並木

天高くそびえる櫟並木は、学院のシンボルだ。生命力に満ちた緑あふれる春の櫟並木。蝉の鳴き声の下で眩しいばかりに輝く夏の櫟並木。澄み切った青空を赤く染める秋の櫟並木。雪で真っ白に化粧をした冬の櫟並木。並木は緩やかなカーブを描き、その先に佇む大隈像、そして趣のある古びた門へと続いている。

学院に入学生した君が、最初に出会うのが櫟並木だ。櫟並木はずっと君のことを見守ってくれるだろう。1年生。部活で、苦しい形相をして櫟並木の下を走るかもしれない。2年生。学ぶことの楽しさに初めて気づいた君が、学ぶことの果てしなさに果敢として見上げる先には、やはり櫟の梢が揺れていることだろう。3年生。学院祭の時期には、仲間と大声で笑いながら喜ばずむ櫟並木を歩くだろう。学院祭が終わった後は、大勢の女子高生を引き連れて、ニヤニヤした顔で櫟並木を歩くかもしれない。

学院を卒業するとき、君は最後に櫟並木の下を抜けて行く。初めての日と同じように、感動で輝く瞳で、君は再び櫟並木を見ることが出来る。そして櫟並木は、それまでと変わらず優しい表情で君に微笑みかけてくれるだろう。



国語担当
榎本 隆之

科学の基礎体力 トレーニングを学院で!

「理科離れ」が叫ばれて久しいですが、実験をしているときの生徒の目の輝きを見ると「理科離れ」なんて何かの間違いではないのかと感じてしまいます。カルメ焼きがふくらんだときの喜んだ顔、蒸留の実験装置を組むときの真剣な顔、中和滴定の実験で正確なデータが出なくて悩んでいるときの顔、どの顔を見ても生徒たちには子供らしい好奇心があふれていて、「理科離れ」なんていったい誰が言っているのか疑問に思うほどです。でも、もし「理科離れ」が本当だとしたら、その原因は科学技術のブラックボックス化が進んでしまったことなのではないでしょうか?スマートフォンなんてその最たるものですね。ボタンすらなくなりましたから!そんなブラックボックス化した世の中でも、自分の手を動かして実験をすることを大切に。それが私の理科教育の基本スタンスです。高等学院の実験では二人で一組が基本、手持無沙汰になる生徒は一人もいません。レポートの書き方も一から丁寧に指導します。手を動かして実験をすること、基本を大切にすること、このスタンスは中学でも高校でも変わりません。みなさんの高等学院で、将来大発見をするための科学の基礎体力トレーニングを一緒にしませんか?



化学担当
竹田 淳一郎

「辞書的な」発音 v.s. 「実際の」発音

米国では2017年にトランプ大統領が誕生しましたが、クリントン氏との激しい選挙戦直後の勝利演説の中で、彼は「I've just received a call from Secretary Clinton.」と言います。まず、インターネットで検索してこの発音を聞いてみて下さい。「Clintonは /'kɪntən/ と辞書通りには発音されおらず、多くの学習者にとってそれを聞き取ることは難しいかもしれません。この発音においてトランプ氏が最も伝えなかったことは他の誰でもなく「クリントン氏」から電話があったことですから、この一語を聞き逃すことは致命的です。

双方向の会話などではネイティブスピーカーと同じように発音できることは必ずしも重要ではありません。理解できない場合は相手に確認することが可能だからです。一方、リスニングとなると演説や大学の講義、駅でのアナウンスのように聞き返すことが不可能な場合が多々あり、「実際の」発音に慣れていくと非常に有利となります。

学院には様々な英語の授業がありますが、その多くにおいてauthenticityを重視しています。この理念に基づきリスニングの授業では「実際の」発音に触れそれを学ぶ機会を設けています。その「実際の」発音に着目して英語をとらえることを経験し、英語コミュニケーション力のレベルアップにつなげてもらいたいと思います。



英語担当
出崎 彰人

高校で第二外国語を 学ぶということ

本校は高校から第二外国語を必修科目として設定している数少ない学校です。ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語のうちの一言語を、三年間を通じて学ぶと共に、机の上の学習に留まらない様々な活動も行っています。

言語を学ぶということは、文化を学ぶということです。言語には、その文化が色濃く反映されています。文化を無視して言語のみを学んでも、本当の意味で言語を使えるようにはなりません。例えば、中国では道ですれちがったとき、「你吃饭了吗?(あなたご飯を食べましたか?)」と聞かれることがよくあります。文法的に言えば、一年生程度の表現です。しかし、あなたがご飯を食べたかを本当に聞きたいわけでも、ご飯に誘おうとしているわけでもありません。単純に、日常の挨拶として声をかけているだけなのです。ここには「食」を大事にする中国の文化がよく表れています。

高校生という若い時期に、第二外国語という武器を身に付けることは、素晴らしい強みになります。早くから基礎を固め、大学に進学して、語学力をより高めることもできますし、何より、多種多様な文化を理解する基礎を作ることにつながります。言語を学ぶということは、世界とつながるチャンスをつかむことなのです。



中国語担当
小宮山 花世

第二外国語の必修

高等学院では、「ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語」を選択必修科目としています。4つの言語の中から1つの言語を入学時に選択し、全員が3年間、その言語を学びます。高等学院在学中に、各言語の検定試験を受検する生徒も大勢いる他、ドイツ語履修者を対象にした「ドイツ政府高校生招聘事業」への参加、フランス語履修者による「フランス語スケッチコンクール」への出場など、幅広い場面で学習活動を行っています。早稲田大学への進学後は、高等学院で履修した言語と同じ言語を履修すれば、学部によっては中級クラスに入り、さらにレベルの高い学習を続けることもできます。また、言語によっては海外名門大学とのダブルディグリープログラムに参加し、学位を取得する機会もあります。



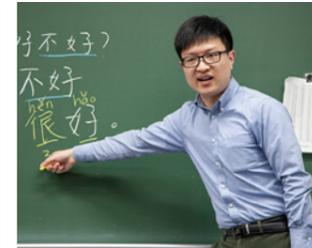
フランス語の授業



ドイツ語の授業



ロシア語の授業



中国語の授業

実践的な英語教育



英語を用いて自ら外へ向けて意見発信をしていく力が、今まさに求められています。大学受験にとらわれずに三年間の勉学に向き合うことのできる高等学院では、その強みを活かし様々な授業を通じて英語4技能の育成に努めています。

特に今年度は、ネイティブ教員による高校二年生選択科目において少人数クラスを編成し、学校作成の独自教材を用いて生徒各自の力に合わせた育成プログラムを始めました。また、高校三年生のコミュニケーション英語III(a)では、ホームルームを二分した少人数クラスで、学術的な話題に関して自分の意見を英語でまとめあげて発表し、意見をやりとりする授業を始めています。こういった取り組みを通じ、大学進学後、そして社会に出た後に求められる、より実践的な英語力を涵養しています。

学校での英語教育は英会話学校でのそれとは異なります。「英語を話す」だけではなく「英語で何を話すか」が肝要です。日常会話のレベルにとどまらない学術的かつ高度な内容について英語で理解し、意見を発信していくために不可欠な基礎能力の育成も軽視することなく、独自のプログラムで取り組んでいます。

研究・探究活動の奨励

高等学院では、生徒が各自の興味や関心に沿った研究活動を行うことを奨励しています。研究テーマ選びから、研究計画の立案、実行までを主体的に進めることで、生徒自らが問題を発見し、その解決に取り組む姿勢を身につけていきます。「高等学院同窓会学術研究奨励金」をはじめ、研究活動をサポートする仕組みも整っています。



奨励金制度による支援

高等学院では、生徒の主体的な研究活動をサポートするために、同窓会の支援により「高等学院同窓会学術研究奨励金」制度を設けています。生徒自身が研究計画を立てて応募し、奨励研究として採択されれば、研究にかかった費用の一部が補助される制度です。

2018年度に採択された研究課題(30テーマから一部抜粋)

- 民族学的観点及び母音分解を統計化したデータに基づいた現代日本語の起源
- イカに付着する発光バクテリアの発光の仕組みに関する研究
- 酢酸ナトリウム三水和物の核化と不純物の関係
- 日本、韓国、中国、台湾におけるSDGs認知度に関する研究
- 変異プラナリアがもつ光走性とその行動様式に関する研究
- アカハライモリとその飼育環境の変化に関する研究
- 平城の江戸時代以前の作りと江戸時代以後の作りの違いと地域による違いについての考察
- 神社の分布と地形との関係について
- 「国境の島」対馬における異文化理解と多文化共生に関する研究
- 相島(福岡県)における猫の生態と毛色遺伝子に関する統計調査
- プラナリアの再生能力を促進させる要素について
- 早稲田大学100周年記念事業における、新キャンパス建設用地選定の過程と決定の経緯
- C++をベースとした独自言語により動作するマイコンボード[Arduino]を用い、鉄道模型が自動で動作するシステムを構築する
- イヌの毛から回収したDNAを用いた簡易な遺伝子検査法の検討
- 太陽光発電が現在の技術でどれだけ家庭用のエネルギー源として役割を果たすことができるかについて
- 日本海付近で出土した恐竜の化石とその類似点から古生物の大陸移動について考える
- 超軽量・柔軟な導電性高分子ナノを用いた植物葉の生体電位の測定
- 酸性雨が植物にもたらす影響
- ウミウシのDNA抽出法の比較・検討
- プラナリアがもつ環境変化に対する適応能力について
- ヒトスジジマカを殺す効果を持つクワアサリ分泌物の成分分析とクワアサリがその分泌物を放出する理由の研究



佐藤オオキ氏

nendo留学

世界的なデザイン事務所nendoの協力を得て、高等学院の生徒が実際に事務所へ通いながらデザインを学ぶnendo留学を2018年1月からスタートしました。現在、3名の生徒がそれぞれの個性を活かすべく、事務所へ通っています。nendoは文具からショッピングセンターまで幅広いデザインプロジェクトを世界中で同時進行しています。その作品は高い評価を得ており、ニューヨーク近代美術館(米)やポンピドゥー・センター(仏)等、世界中の主要美術館に収蔵されています。留学ではデザインに必要な技術、考え方を学び、課題に対して実際の形にした自分のアイデアで解決する事を体験します。nendo留学はデザインを通して社会性、国際性、そして起業家精神を身につける新しい留学のスタイルです。

nendoは佐藤オオキ氏と伊藤明裕氏が2002年に創業したデザイン事務所。佐藤氏がデザイン、伊藤氏がマネージメントを担当して、イタリアにオフィスを構えるまでの会社になりました。二人は高等学院のボート部の先輩と後輩で、二人乗りボート競技のペアでした。

Student's Voice

デザインを学ぶnendo留学で将来進みたい道がより明確に

放課後や長期休暇を利用してデザイン事務所nendoへ通い、デザインの基礎を学ぶ「nendo留学」に2年生から参加しました。もともと中学生のころからグラフィックに興味があり、デザインを生業とする方々がどのような視点や考え方で仕事を行っているかを間近で見たいと考えたのです。それまでは独学で制作していたため、最初はどのようなプロセスを進めるべきなのかわからず戸惑いましたが、基礎を学ぶにつれて、課題に対してより良い成果物を出せるようになりました。それに対してプロのデザイナーさんから客観的で冷静な分析をいただけたことはとてもうれしかったです。nendo留学を通じて、それまで直感的にできていたと思っていたデザインには、すべて理由や根拠があり、過去からの知見が反映されていることを知りました。また、いろいろな手法で紙面上の情報をコントロールすることで、見る人に、より効果的に情報を伝えられることを学びました。培ってきた色彩や造形の感覚をさらに磨き、将来の学びにつなげたいと考えています。



高等学院3年 村山 世織

留学と国際交流

高等学院では短期、長期の多彩な留学・研修プログラムを利用することができます。2017年度からは、所定の条件を満たす場合に、年間留学をしても最短3年間で卒業可能な制度も導入されました。費用負担の少ないプログラムもあり、内容、期間等も含め、自分に合ったチャンスを見つけられます。留学生の派遣・受入のみならず、交流協定校、その他機関・団体からの訪問者との国際交流を積極的に推進し、グローバル社会に対応できる生徒の育成に力を入れています。

学術交流協定締結校・機関

| | | |
|-------|---------|---------------------------|
| 2009年 | ドイツ | ゲーテ・インスティテュート(PASCHプログラム) |
| | 台湾 | 国立政治大学附属高級中学校 |
| 2010年 | 韓国 | ハナ高等学校 |
| 2011年 | フランス | 日仏高等学校ネットワーク(コリブリ) |
| 2012年 | 中国 | 孔子課堂 |
| 2013年 | オーストラリア | ザビエル・カレッジ |
| 2014年 | ロシア | サンクトペテルブルク国立第583番中等学校 |
| 2015年 | オーストラリア | セントポールカトリックカレッジ マンリー校 |
| 2016年 | ドイツ | ラインガウ・ギムナジウム |
| | 中国 | 北京大學附属中学 |



2018年度の主な留学・国際交流活動

海外留学(1年間)

| | | |
|------------|---------|-------------|
| アメリカ 5名 | スペイン 1名 | カナダ 1名 |
| オーストラリア 1名 | ドイツ 1名 | ニュージーランド 1名 |

海外へ派遣

| | |
|-----|--|
| 6月 | タイ国政府招待 TJ-SSF2018(国際科学フォーラム)へ生徒3名を派遣(タイ6日間) |
| 7月 | 国際ドイツ語オリンピックへ生徒1名を派遣(ドイツ15日間) ハナ高校国際シンポジウムへ生徒9名を派遣(韓国5日間) SGH・越境対馬フィールドワークへ生徒6名を派遣(韓国8日間) オーストラリア研修へ生徒15名を派遣(オーストラリア16日間) 船橋市青少年海外視察派遣事業へ生徒1名を派遣(オーストラリア12日間) |
| 8月 | 埼玉県・クイーンズランド州スカラシップ事業高校短期留学プログラムへ生徒1名を派遣(オーストラリア17日間) PASCH主催ドイツ滞在プログラムへ生徒2名を派遣(ドイツ3週間) |
| 11月 | The World Scholar's Cup 決勝大会へ生徒1名を派遣(アメリカ6日間) |
| 2月 | ザビエル・カレッジ日本語授業支援のため生徒1名を派遣(オーストラリア1か月間) |
| 3月 | ハナ高校へ生徒3名を派遣(韓国10日間) 日仏高等学校ネットワーク(コリブリ)へ生徒10名を派遣(フランス、ニューカレドニア3週間) 日露青年交流事業短期派遣へ生徒3名を派遣(ロシア1週間) サンクトペテルブルク国立第583番中等学校へ生徒2名を派遣(ロシア1週間) 北京大學附属高級中学へ生徒16名を派遣(中国3日間) |

留学生受入

| | |
|--------------|------------------|
| フランス 8名(3週間) | ロシア 1名(2週間) |
| ドイツ 2名(1年間) | オーストラリア 16名(8日間) |
| イタリア 1名(1年間) | 韓国・ハナ高校 2名(2週間) |

海外から来校

| | |
|-----|--|
| 4月 | 台湾・建国高級中学から生徒・教員約30名が来校 |
| 10月 | フランス・ロクロワ高校から生徒・教員約20名が来校 |
| 11月 | ロシアから高校生・教員約50名が来校 国立政治大学附属高級中学の生徒が来校 北京師範大学・高麗大学・ロンドン大学・イリノイ大学の大学院生36名が来校 |
| 2月 | 北京大學附属高級中学の生徒16名が来校 |

Student's Voice

自ら動き機会をつかむことに学院生活の醍醐味があります

2年の夏にオーストラリアで開かれたWorld Scholar's Cup Global Roundの世界大会に、他校の生徒2人とチームを組んで参加しました。これは世界50カ国以上の中高生が総合的な教養を競い合う大会です。アカデミックな競技や交流を通して、世界には自分よりもはるかに優秀で、独自の意見や将来への目標をしっかりと考えた同世代がたくさんいることを実感しました。表彰式で学校名を呼ばれた瞬間は感無量で、目標だった決勝大会にも進むことができました。このほかに、Stanford e-Japan、韓国・ハナ国際シンポジウムやToshiba Youth Club Asiaなどさまざまな国際交流活動に参加し、多種多様な人たちに出会ったことが一番の財産です。大学では国際政治を学び、将来は日本と外国をつなぐ架け橋のような存在になりたいと考えています。様々な活動を通して、受験にとらわれずに関心のあることに打ち込める高等学院ならではの「自由」を有効活用することができたと思います。自分から動き、チャンスをつかむことこそ学院生活の醍醐味です。そんな学院らしさを体現する、挑戦意欲あふれる後輩の入学を楽しみにしています。



高等学院3年 渡邊 航大

写真はGlobal Round 2018入賞時のメダル、トロフィー

さまざまな活動

プロジェクト活動

生徒が学校内の問題はもちろんのこと、様々な社会的事象にまで問題意識を広げた結果、従来のクラブ活動や生徒会活動の枠に当てはまらないユニークな課外活動が生まれてきました。それが、有志の生徒により行われている様々なプロジェクト活動です。

模擬裁判プロジェクト

日本弁護士連合会主催の「高校生模擬裁判選手権」への参加や、裁判所見学・裁判所職員へのインタビュー等を通じて、法的知識を身につけ、法理解や司法理解を深めます。



模擬裁判

教育プロジェクト

将来教員を目指す生徒、人に教えるのが好きな生徒が集い活動します。活動は、中学部1、2年生を対象に、週2回質問対応や学習の手伝い等を行い、中学部生が学習の習慣をつけられるよう手助けします。



教育プロジェクト

環境プロジェクト

環境問題を身近なところから考え実践していくことを目的としたプロジェクトです。地域清掃や環境フォーラムへの参加、フィールドワーク調査など、多彩な活動に取り組んでいます。

社会探究プロジェクト

身の回りの様々なテーマ・社会問題について能動的かつ多角的・複眼的に考え、定期的な学習やフィールドワークによって社会に対する知識や理解を深めていきます。

企業プロジェクト

早稲田大学の附属としての本校の環境を活かして、企業の仕組みや、経済の仕組み、世の中に存在するビジネスについての知識を、高校生のうちから学んでいきます。

生徒会・委員会活動

高等学院では、自主自立の精神に根差した校風のもと、学院祭や体育祭をはじめとする様々な行事や活動が生徒主体で行われています。それらの準備・運営において中心となって活躍するのが、全校生徒から選挙で選ばれる生徒会役員や、クラスを代表する各種の委員です。生徒会・委員会活動は、将来に役立つリーダーシップや仲間との協働を学ぶ絶好の機会にもなります。

生徒会

● 中央幹事会 (中央幹事長 / 副幹事長 / 書記 / 会計)

委員会

- 自治委員会
- 学院祭委員会
- 体育祭委員会
- 図書委員会
- 学院雑誌委員会
- 選挙管理委員会
- アルバム委員会

Student's Voice

工夫して周りを巻き込みながら
学院をもっと盛り上げたい

中央幹事会の幹事長を務めています。華やかな役割のようでも、実際は地道な作業が大半です。想像以上に肉体的労働も多く、休み時間はそこかしこを走り回っています。意識しているのは「人にやる気を出させること」とそのために「話を面白く伝えること」。自ら考えたことを形にできる貴重な機会でもあるため、できるだけ具体的に、わかりやすく、理論に則ったものを作るように心がけています。幹事長に就いてから、政治により関心が向き、人をよく観察するようになりました。高等学院の先輩でもある学院長先生からはマックス・ヴェーバーの「職業としての政治」という本を勧められました。こういった本を読み込む時間があることだけでなく、尊敬できる多くの先輩方がいらっしゃることも学院の良さかもしれません。中央幹事会は学校全体をまとめる機関であり、その意志を持つ人が揃っています。その意味で、学院の中でも最も学院らしいところと言えます。自らが考えるリーダーとしての責任を果たしながら、学院をもっと盛り上げていくことを目標としています。



高等学院3年 田中 謙太郎

主要学校行事

| | |
|----------------|---|
| 4 April | <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 始業式 ● 新入生オリエンテーション ● 定期健康診断 |
| 5 May | <ul style="list-style-type: none"> ● 授業参観・保護者会 ● 大学モデル講義・進路講演会・TOEIC/TOEFL (3年生) ● 校外活動 (1・2年生 2泊3日) |
| 6 June | <ul style="list-style-type: none"> ● 学部進学説明会 (理工3学部) ● 東京六大学野球 早慶戦応援 (1年生) ※年により、5月最終週～6月第1週にかけて行われます。 |
| 7 July | <ul style="list-style-type: none"> ● 学期末試験 ● 追試験 ● 終業式 ● 夏期補講 ● 保護者会 |
| 8 August | <ul style="list-style-type: none"> ● オーストラリア海外研修 (隔年) |
| 9 September | <ul style="list-style-type: none"> ● 始業式 ● 特別考査 (2・3年生) ● 体育祭 ● 学部進学説明会 |
| 10 October | <ul style="list-style-type: none"> ● 学院祭 ● 大学創立記念日 (21日) |
| 11 November | <ul style="list-style-type: none"> ● 学芸発表会 |
| 12 December | <ul style="list-style-type: none"> ● 学期末試験 ● 終業式 ● 保護者会 |
| 1 January | <ul style="list-style-type: none"> ● 始業式 ● 特別考査 (2・3年生) ● TOEFL (1年生、2年生) ● 自己推薦入学試験 |
| 2 February | <ul style="list-style-type: none"> ● 一般入学試験 ● TOEIC/TOEFL (3年生) |
| 3 March | <ul style="list-style-type: none"> ● 学年末試験 (1・2年生) ● 終業式 ● 卒業式 |



入学式 (早稲田大学 大隈記念講堂)



校外活動



進路講演会



オーストラリア海外研修



体育祭



早慶戦応援



体育祭



学院祭



学院祭



学院祭



学芸発表会



学芸発表会

クラブ活動

体育部門 (28)



文化部門 (24)



2018年度の主な活躍

部・同好会

| | |
|-----------|---|
| ヨット部 | 東京都高等学校セーリング選手権大会420級 優勝 国民体育大会セーリング競技会東京都予選会 ペア 男子420級 優勝 |
| グランドホッケー部 | 東京都高等学校総合体育大会 ホッケー男子 優勝 |
| 洋弓部 | 国民体育大会東京都代表最終選考会 少年の部 個人 準優勝 |
| 理科部生物班 | SKYSEF2018 口頭発表会第3分科会 第1位 テーマ「The effects of Lasius fuji against Asian tiger mosquito (Aedes albopictus)」 |
| 弓道部 | 東京都秋季大会 男子個人 優勝、 全国高等学校弓道選抜大会 出場権獲得 |
| フェンシング部 | 東京都高等学校フェンシング新人大会 (都新人戦) 学校対抗の部・男子エペ準優勝 |
| 将棋部 | 東京都高等学校文化祭将棋部門中央大会 男子 選手権戦 第2位 |
| 吹奏楽部 | 全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクール 高等学校の部 優秀賞 TAMAアンサンブルフェスタ 金管六重奏 金賞 および 東京藝術大学音楽学部同声会東京支部賞 東京都高等学校アンサンブルコンテスト 金管六重奏 金賞 木管六重奏 金賞 |

入賞など

- ドイツ語オリンピック 国内予選 優勝
- "Stanford e-Japan" 最優秀賞 (Stanford e-Japan award)
- 海洋空間のシステムデザインカップ「ひれ推進コンテスト」 準優勝
- 東京薬科大学生命科学部25周年記念シンポジウム 大隈賞
研究テーマ「クロクサアリがヒトスジシマカ(メス)に与える致死的影響」
- 藤原ナチュラリスト財団高校生研究発表会 最優秀賞 受賞
発表テーマ「クロクサアリがヒトスジシマカ(メス)に与える致死的影響」
- SGH全国高校生フォーラム 審査委員長賞 受賞
- 創造力無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ
高校生ビジネスプラン・ベスト100 選出



Student's Voice

チームの仲間がいるからこそ頑張れるのだと学びました

学業に加えて、小・中と打ち込んできたホッケーにさらに力を注ぎたかったことも、高等学院を選んだ大きな理由です。入学後すぐにグランドホッケー部に入部し、3年の今は主将を務めています。東伏見にある早稲田大学のホッケー専用グラウンドを利用できることが部の特色の一つで、すばらしい設備のもとで思う存分練習ができるありがたさを実感しています。私以外の部員はみな高校から競技を始めているので、自分が持っている知識をできるだけ伝え、全員のレベルが上がるように努めています。2年生夏の東京都大会決勝戦では、先制点に絡むことができ、その後もチームが一丸となって必死に戦い、初優勝を果たしました。卒業された先輩方も来て一緒に喜んでくれたことが心に残っています。1人では絶対にできないことでも仲間がいれば頑張れるのだと、部活動を通じて学びました。スポーツに限らず、興味を持ったものに全力で打ち込むことで、自分という人間がより魅力的になり、人との出会いの幅も広がります。好奇心がくすぐられることに、ぜひ臆さず挑戦してください。



高等学院3年 小比類巻 周



学院での多角的な学びを礎に 正解のない課題に挑んでいます

大学院では現在、インターネットを介して複数台のロボットがコミュニケーションを取りながら協力するシステムの開発に取り組んでいます。この研究の難しさは、どんなロボットがいいのか、どう協力させるのか、正解がないことです。与えられた条件の中でより良いと思われる方法を選び、実際に試して確認することを繰り返しています。この研究とは別に、課外活動として昨年、他大学の学生・大学院生を含む5人のチームで「Project MARS -Education League JP」というコンテストに参加し、最優秀賞を獲得しました。現在は、このときの

メンバーで会社を立ち上げ、宇宙開発の促進を目的とした幅広い活動を展開しています。振り返ると学院では、レポート課題や研究、ディベート、課外活動などを通して、多角的な知識やスキルを身につけ、それらすべてが今の自分の基礎になっていると感じます。特に現代文の授業で教わったソクラテスの「無知の知」は今も座右の銘です。知識を増やすほどに、自分の知識の少なさを自覚し、さらに学ぶことを繰り返す。その姿勢を研究でも大切にしていきたいと思っています。

創造理工学研究科 修士課程 2年 松廣航



培った第二外国語の能力は 大学の学びでも必ず役立ちます

充実した第二外国語のカリキュラムがあることが、高等学院を選ぶ決め手になりました。在学中は3年間を通してドイツ語の学習に力を入れ、3年の夏にはドイツ語オリンピックの国内選考で1位になり、ドイツの本戦では70数ヶ国の代表者と競い合いました。また、Jugendkursという言語研修で3週間ドイツの都市を回り、世界中の青少年とドイツ語を使って交流を深めたことも印象に残っています。大学では今後、関心のある外交や国際関係について学びを深めていく予定です。外交史や世界情勢を見るうえで、国によって異なる言語・

文化・歴史に精通していなければなりません。第二外国語を修得することは、まさにその国の「専門家」になり得るということで、大学での学びにも必ず役立ちます。将来は言語能力を活かして、世界の架け橋となる職業に就きたいと考えています。学院には、学院でしか経験できない多彩なプログラムがあります。機会をどう活かすかは自分次第です。アンテナを広く張り、あらゆる情報を視野に入れ、貪欲にチャンスをつかむことをお勧めします。

政治経済学部 国際政治経済学科 1年 燕昇司 健吾



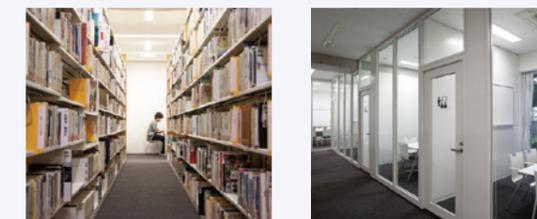
国内外に活動の場を広げ培った 周りに流されない自分の判断軸

留学先や内容を自分で自由に決められる文部科学省の「トビタテ!留学JAPAN」を利用して、高校2年の夏休みに1カ月間、アフリカのタンザニアで医療ボランティアに参加しました。当時から、大学では生命医学を学びたいという思いがあり、進学する前に世界の現場を見たいと考えたからです。現地では医学ワークショップを受講したほか、医師に同行して地方での検診補助も経験しました。訛りの強い英語を聞き取るのに苦労しましたが、世界中から集まったほかのメンバーと協力して何とか乗り越えた事を覚えています。また、3年間を通して対馬を

フィールドとした研究活動に打ち込んだほか、同窓会学術研究奨励金などを受けて「Nゲージ鉄道模型の架線集電化」をテーマにした課題研究にも力を注ぎました。学院生活で身につけたのは、時には批判的に広く物事を考える力です。周りの状況に流されることなく、自分の軸を持って主体的な行動ができるようになったと思います。生命医学科に進んだ今、理学・工学・医学を学べる環境を活かして、分野の枠を超えた幅広い知見を得ていきたいと考えています。

先進理工学部 生命医学科 2年 岩井直哉

全国屈指の規模と充実した設備を誇り、
早稲田大学図書館の蔵書も利用可能



図書室は校舎の中心に位置し、中学生と高校生の共有施設です。吹き抜け構造で開放感にあふれた入口を進むと、フロアの中ほどに企画コーナーと新聞・雑誌コーナーがあり、それを取り囲むように開架式の本棚、さらに閲覧席が並んでいます。閲覧席からは全面ガラスの窓越しに緑の木々を眺めることができ、落ち着いた読書や調べものに集中できる環境です。個別閲覧席は約120席あり、ほかにグループルーム4室、AVコーナー、PCコーナー、書庫を備えています。蔵書数は約12万冊、雑誌・新聞は約70誌、DVD・CD等の視聴覚資料は約3,500点に上り、中学・高等学校としては全国でも屈指の規模を誇ります。蔵書は自然科学から人文社会科学、文学書や辞書類など幅広く、第二外国語関係の図書が充実している点も特色です。さらに、学院生は座席数1,800席・蔵書約280万冊を有する早稲田大学中央図書館を利用することができます。また、高等学院の図書室から大学中央図書館の蔵書を取り寄せたり、返却したりすることも可能です。



早稲田大学中央図書館

早稲田大学 高等学院中学部

Junior High School

未来への 第一歩をここから

知的好奇心や吸収力が
目覚ましく伸びる中学生の時期。
整った教育環境のなかで自らの興味や関心に沿った
学びに打ち込むことで、
未来への可能性は大きく広がります。
早稲田大学の一員として育ち、確かな力を身につける—
そんな6年間の学院生活が待っています。



スクリーンの映像は、国土地理院および米軍撮影の空中写真(1945年～1950年撮影)

教育の主旨

国際化、情報化そして少子高齢化が進む21世紀初頭の今日、これからの時代の社会的付託に応えるべく、中等教育を担う学校として早稲田大学では初めてとなる中学校を設置しました。これにより、後期中等教育を担ってきた高等学院と連携しながら、早稲田大学としての中等教育と高等教育の一貫性を強化、確立します。

■ 生活時間(通年)

| | |
|-------|-------------|
| 第1時限 | 8:30～9:20 |
| 第2時限 | 9:40～10:30 |
| 第3時限 | 10:40～11:30 |
| 第4時限 | 11:40～12:30 |
| (昼休み) | 12:30～13:10 |
| 第5時限 | 13:10～14:00 |
| 第6時限 | 14:10～15:00 |
| 学活・清掃 | 15:05～15:25 |
| クラブ活動 | ～17:00* |

*クラブ活動は申請により1時間の延長が認められます。
*土曜日は第4時限までとなります。

教育課程 週6日制

| 教科 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|------|------|------|
| 国語 | 6 | 5 | 5 |
| 社会 | 4 | 4 | 4 |
| 数学 | 5 | 5 | 5 |
| 理科 | 4 | 4 | 4 |
| 音楽 | 1 | 1 | 1 |
| 美術 | 1 | 1 | 1 |
| 保健体育 | 3 | 3 | 3 |
| 技術・家庭 | 2 | 2 | 1 |
| 英語 | 5 | 5 | 5 |
| 道徳 | 1 | 1 | 1 |
| 総合的な学習の時間a | 1 | 1 | 1 |
| 総合的な学習の時間b | 1 | 1 | 1 |
| 選択教科a(英語) | 0 | 1 | 1 |
| 選択教科b(諸外国語) | 0 | 0 | 1 |
| 特別活動 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | 35 | 35 | 35 |

*所定の基準を満たし、中学部を卒業すれば高校に進学できます



Student's Voice

日常の中で新しい発見をし 成長できる環境があります

生徒会長にあたる中央幹事長に立候補したのは、委員会や部活動以外の団体も含めて、もっと幅広く生徒が活躍できる環境をつくりたいと考えたからです。幹事長になった今、限られた時間の中で優先順位を考えながら、学校がより良くなるよう努力を続けています。学院には専門知識を持った個性的な先生方がいて、周りの仲間からもたくさん刺激を受けることができます。普段の生活の中で新しい発見をし、成長できる環境がここにはあります。



3年 鈴木 創太郎

各科教育目標

国語

感性とのバランスを考慮しつつ、知の力の育成に重点を置く。多様な文章の読みを通して、広く知識を習得させるとともに、文意を深く正確に理解する学習を継続して行う。また、書く力を含め、相手とのコミュニケーション能力の向上に力を注ぐ。

社会

現代の社会が抱える諸課題に主体的に取り組むために批判的思考力の涵養を目的とする。社会3分野をバランスよく学ばせ、校外学習などを通して社会との接点を多様に設け、高校・大学へつなげる基礎的な学力と教養を身につけさせる。

音楽

演奏活動（歌唱、器楽アンサンブル）、鑑賞、創作活動を通じて、音楽を愛する豊かな心を養い、表現力や創造力を高めることを目標とする。また和楽器や伝統芸能に触れることで、日本の伝統文化・伝統芸能に対する関心と理解を深めさせたい。

保健体育

発育・発達段階における形態的・機能的変化の大きさに十分に配慮し、健やかな心身の育成を目指す。個人的スポーツ・集団的スポーツ・武道等の実技と体育理論をバランスよく学ぶことで、いわゆる「骨太のワセダマン」としての成長を促していきたい。

美術

絵画や彫刻、デザインや工芸などの表現活動を通じて、材料や用具の生かし方、用途や機能を踏まえた表現技能の習得を目指す。また表現することの喜びを味わうとともに、美術を愛好する心情の育成・豊かな情操を養うことを目標とする。

数学

小学校での算数の学習を基に、数学における基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指す。また、中学3年間の内容の学習を通して、ものごとを論理的かつ多面的に考え、数理的に考察する力や態度を養うとともに、創造力や発想力を育てることを目的とする。

理科

高等学院創設以来の伝統である実験・観察を重視しながら、考える力を養う。さらに高校進学後の学習への架け橋となるように内容をよく吟味し履修させる。そのために授業は専門性の高い教員が担当する。

技術家庭

技術分野では、ものづくりとしての材料加工および情報技術だけでなく、生物育成とエネルギーに関する技術の学習指導を行う。家庭分野では、生活の自立に必要な知識や技術を習得し、様々な社会の変化に主体的に対応できる力の育成を目指す。

英語

英語を通じて、外国や自国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。バランスの良いコミュニケーション能力の育成を図り、高校における発展的な学習に必要な基礎力や自主的な学びの姿勢を養う。

総合的な学習の時間・選択教科

早稲田大学に関わる事柄をはじめ、教科の枠をこえた課題について、調査・研究し、成果をまとめて発表できるよう指導する。また、英語を中心として、高校で授業がおこなわれている諸外国語圏の文化・歴史・言語などについて学ぶ機会をつくる。

大学との関わり

キャンパスツアー

早稲田大学への進学先(学部)を選択する上で必要な知識を早い段階から得るために、一般的には高校在学中に行うキャンパスツアーを、中学部在学中に行っています。1年生は早稲田キャンパス、2年生は所沢キャンパス、3年生は西早稲田(理工)キャンパスを見学し、各学部の説明や施設・研究室の紹介してもらいます。



アウトリーチプログラム

早稲田大学の留学生が各クラスに来て、出身国について文化や言語などの授業を行います。世界各国の事情を知るとともに、国際意識が高まります。



研究について

中学部では早くから自分の興味に合った研究を奨励しています。有志を募って団体を設立して学習発表会で発表することや、個人的に研究テーマをもって教員からアドバイスをもらう生徒など様々です。また、同窓会では研究計画を公募して学術研究奨励金により研究活動を支援しています。

これまでに採択された同窓会学術研究奨励金の研究課題(抜粋)

- 釘を用いない「レオナルドの橋」の耐久度に関する研究
- シャープペンシルの芯の構造と強度
- 透明標本についての研究
- レゴマインドストームを使用したオリジナル自立型ロボットの製作
- 模型飛行機の理想的な形状に関する研究
- 低コスト高効率小型発電の開発
- 橋の強度研究による高強度の構造開発
- 漁業被害を及ぼす海洋生物についての研究
- 硝酸カリウムの電気分解とアンモニアの発生について
- ユークリッド原論に関する研究
- 池や田における生物多様性についての考察
- オオイタサンショウウオの成長過程
- 海洋系フィールドワークによる生物多様性の探究
- フィールドで活用できる生物図鑑の作成
- Ion-Xガラスの強度と保護フィルムの衝撃吸収性
- 生物多様性の評価方法の開発
- クラウド上で日本と同じような地形を構築し、任意の指定した年代と同程度の人口・資源を配置し、人の流れなどをシミュレートする
- LEGO®の実用的な活用法の研究及び大会への出場

Student's Voice

日々の授業で学んだ英語と空手の経験を活かして交流

中学3年の時に、学院で毎年夏に行われている「オーストラリア研修」に参加しました。入学時から語学学習に興味があったことに加えて、別の年に参加した友人や、両親からの勧めもあり、ホームステイ型のこの研修に参加することを決めました。英語を学び始めて3年しかたっていないにもかかわらず、それまで日本を出た経験もなかったため当初は不安がありました。しかし、日々の英語の授業や、研修前の準備のおかげで、滞在中はオーストラリアの学生やホストファミリーとの距離が縮まり、研修をより有意義なものにすることができました。また、現地で行われた授業の中で、文化交流の一環として幼少期から続けている空手を英語で紹介する機会もありました。そのため、今まで自分が取り組んできたものを海外にも広げることができ、とても良い経験になりました。学院ではオーストラリア研修のほかにもさまざまな研修やイベントを通して、普段の授業とはまた違う学びの機会を多く得られます。そうした機会を無駄にすることなく、積極的に活動に参加していく姿勢が大切だと思います。



高等学院1年 服部 竜大

Student's Voice

ロボット製作に打ち込み成果をもとに大会に出場

「効率よく動作するレゴ®ロボットプログラムの製作」をテーマに、同窓会学術研究奨励金を受けて研究に取り組んでいます。このテーマに関心を持ち、プログラミングを始めたのは1年生の時です。2年生になり、何か目標を立てて研究したいと考えたことから、同窓会奨励研究に応募し、その成果をもとに大会に出場することを決めました。この研究ではいかに「軽く、速く」できるかが重要になりますが、限られたパーツの中で、より軽く丈夫な機体を製作することは難しく、試行錯誤を続けました。数値を少し変えるだけで動作の速度は大きく変化し、それが結果につながることに面白さを感じます。大会では、練習時には分からなかった小さな欠陥が見つかり、改善点に気づかされました。また、他の出場校とポスターセッションで交流し、優勝校の機体を見せてもらったことで、新たなヒントも多く得られました。学院には、一人ひとりが自分の研究にひたむきに取り組むことができる「自由」があります。納得いくまで時間を費やし、自分にとっての傑作をつくり上げてほしいと思います。



3年 寺野 柁太

主要学校行事

| | |
|----------------|---|
| 4 April | <ul style="list-style-type: none"> 入学式 始業式 オリエンテーション合宿(1年生) 情報モラル教室 |
| 5 May | <ul style="list-style-type: none"> 授業参観・保護者会 生徒総会 体育祭 中間試験 |
| 6 June | <ul style="list-style-type: none"> 芸術鑑賞教室 アウトリーチ プログラム(2・3年生) 東京六大学野球早慶戦応援 ※年により、5月最終週～6月第1週にかけて行われます。 |
| 7 July | <ul style="list-style-type: none"> 期末試験 面談 終業式 保護者会 |
| 8 August | <ul style="list-style-type: none"> オーストラリア研修(2・3年生、希望制) |
| 9 September | <ul style="list-style-type: none"> 始業式 早稲田大学キャンパスツアー 校外学習 保護者会 |
| 10 October | <ul style="list-style-type: none"> 宿泊研修 1年生:奈良 2年生:長野 3年生:長崎・佐賀 中間試験 |
| 11 November | <ul style="list-style-type: none"> アウトリーチプログラム(1年生) 学習発表会 |
| 12 December | <ul style="list-style-type: none"> 期末試験 面談 終業式 保護者会 |
| 1 January | <ul style="list-style-type: none"> 始業式 |
| 2 February | <ul style="list-style-type: none"> 中学部入学試験 音楽祭 スピーチコンテスト |
| 3 March | <ul style="list-style-type: none"> 学年末試験 面談 終業式 卒業式 |



入学式



体育祭(棒引き)



東京六大学野球早慶戦応援



オーストラリア研修



生徒総会



オーストラリア研修



学習発表会



スピーチコンテスト



音楽祭



卒業式



クラブ活動



運動部 (5)

文化部 (6)

※高校のクラブの中には、中学3年生の2学期から参加できるものもあります。

宿泊研修

宿泊研修の事前学習は、総合的な学習の時間を使って行います。生徒たちはグループに分かれて研修テーマを決め、事前調査を行い、自主研修の綿密なスケジュールを作成します。宿泊研修中は事前学習の成果を検証し、現地であれば得られない発見や感動を持ち帰り、その成果をまとめて学習発表会でプレゼンテーションやポスターセッションなどで発表します。



1年生 オリエンテーション合宿



- 1日目 バスで移動、開校式、植林活動、クラス別活動
- 2日目 ほうとう作り、イニシアティブゲーム、クラス別活動
- 3日目 ネイチャーツアー、バスで帰京

1年生 奈良研修 (2泊3日)



- 1日目 新幹線で移動、法隆寺、中宮寺、薬師寺、唐招提寺見学
- 2日目 グループ別自主研修、法話
- 3日目 東大寺、興福寺見学、新幹線で帰京

2年生 長野研修 (2泊3日)



- 1日目 バスで移動、入村式、ホームステイ先で活動
- 2日目 茶臼山トレッキング、棚田で稲刈り体験、ホームステイ先で活動
- 3日目 ホームステイ先で活動、退村式、バスで帰京

3年生 長崎・佐賀研修 (3泊4日)



- 1日目 飛行機で移動、被爆体験講話、原爆史蹟巡り、資料館見学
- 2日目 グループ別自主研修
- 3日目 テーマ別自主研修 (佐賀県観光開発プロジェクト)
- 4日目 大隈重信生家、大隈記念館見学、飛行機で帰京

学習発表会

学習発表会では、通常授業の学習成果の発表やクラブ活動の発表、有志団体の発表も行っています。



校外学習

9月に行う校外学習は、各学年が企画して実施します。中学3年では教員指導のもと生徒たちが研修に相応しい場所を選び、研修内容を企画し、実施しています。

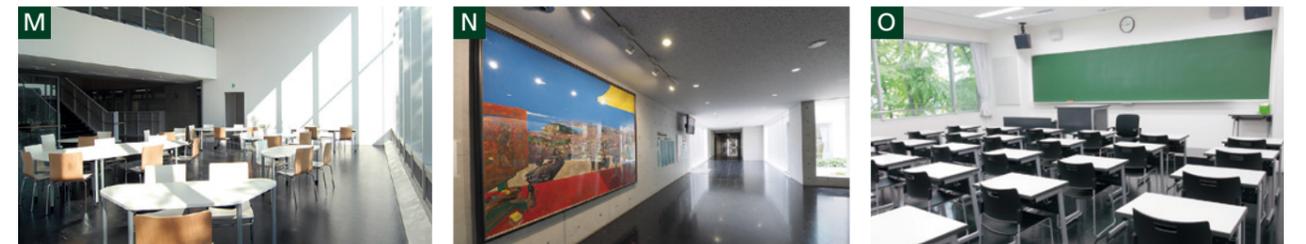
- これまでにいった校外活動(抜粋)
- 上野科学館・博物館 (班別研修)
 - 鎌倉 (班別自主研修)
 - 日本科学未来館 (班別研修)
 - 早稲田大学から高等学院への道 (班別研修)
 - 葛西臨海公園・水族館 (班別研修)
 - 川越 (班別自主研修)
 - 上野・浅草 (班別自主研修)

これまでの生徒の主な活躍(抜粋)

- 吹奏楽部…全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクール 中学生の部 第3位・審査員特別賞
- サッカー部…練馬区春季サッカー大会優勝、都大会出場
- 野球部…練馬区大会準優勝、都大会出場、石泉地区大会優勝、東京都私立中学校野球部教育リーグ優勝
- 剣道部…都大会出場、練馬区大会第3位(個人)、準優勝(団体)、渡邊杯争奪剣道大会第3位、五大学附属中学校剣道大会 団体 準優勝、優秀選手賞
- バレーボール部…練馬区新人バレーボール大会 準優勝
- 「日本語大賞」中学の部…文部科学大臣賞
- 「もっと明鏡」大賞 みんなで作ろう国語辞典…最優秀作品賞、最優秀学校賞
- 「お金の作文」コンクール…秀作
- 地球にやさしい作文・活動コンテスト 中学の部 作文・活動部門…優秀賞、学校賞
- 国立科学博物館主催植物画コンクール…佳作
- 日本物理学会 Jr.セッション…審査員特別賞
- 小田原白梅ライオンズクラブ 早稲田大学科学コンテスト 中学の部…優秀賞
- クエストカップ全国大会…優秀賞
- 早稲田大学アプリケーションプログラムコンテスト…優秀賞
- CENGAGE Learning ジュニア読書大会 日本語感想部門…準優勝
- 中学生の税についての作文…練馬西税務署長賞
- 新技術開発財団主催市村アイデア賞…市村アイデア記念賞、市村アイデア奨励賞
- 夏目漱石コンクール読書感想文「わたしの漱石、わたしの一行」中学生の部…朝日新聞社賞
- 全国「図書館を使った調べる学習コンクール」中学生の部…佳作
- 産経新聞社主催 約束(プロミス)エッセー大賞…佳作、学校賞
- 英語検定…優秀団体賞
- 伊藤園おーいお茶新俳句大賞…佳作
- 中学生科学コンテスト…銅賞
- 田辺聖子文学館ジュニア文学賞 中学生の部 小説部門…最優秀賞
- 筆文字で伝えたい言葉大賞 学生の部 (小・中高生)…芸術新聞社賞
- 日本デザイン書道作家協会主催…芸術新聞社賞、学生の部100選 選出
- 映画感想文コンクール…東京都大会 キネマ旬報社賞、全国大会優秀団体賞

CAMPUS MAP

武蔵野の面影を色濃く残すキャンパス。
緑と光が6年間のステージを照らす —



エコの取り組みと 災害時の備え

校舎の屋上には太陽光発電パネルが設置され、学院内で使用する電力の一部を賄っているほか、空調システムや温水器にも太陽熱エネルギーが利用されています。また、非常用としてディーゼル発電機を備え、備蓄庫には3日分の食料・飲料水・毛布等を常備。学校からご家庭への緊急情報連絡システムも整えています。



ソーラーシステム



備蓄庫(第二体育館)



A 講堂 卒業式などの様々な学校行事、教育活動、生徒の課外活動や成果発表に利用できる椅子席1,500席を完備しています。この講堂棟には、ほかに音楽教室などもあります。**B** アリーナ(第二体育館) **C** 北グラウンド 全てのグラウンドが最新のロングパイル人工芝に整備され、体育の授業や放課後のクラブ活動で利用しています。**D** 軟式テニスコート **E** センターグラウンド **F** フィットネスルーム(アリーナ(第二体育館)) **G** ゴルフ練習場 **H** 図書室 蔵書数約12万冊、雑誌・新聞約70誌、DVD・CD等の視聴覚資料3,500点を擁します。**I** 西グラウンド・陸上レーン **J** 食堂 **K** コンピュータ教室 早稲田大学と同じ環境のコンピュータ教室が3室(各室50台)あります。**L** 小講堂 **M** ラウンジ **N** 70号館 1階エントランス **O** ホームルーム教室 マルチメディア対応のAV機器が常設され、授業等で活用されています。**P** CALL 教室 コンピュータやAV機器等を駆使した語学学習支援のための教室が3室(各室50台)あります。**Q** 第一体育館 **R** 武道場(アリーナ(第二体育館)) **S** 理科実験室 高校に化学・生物・物理・地学で6つの実験室、中学に第1分野・第2分野で2つの実験室があります。

2020年度 高校入試概要

※詳細は入学試験要項をご覧ください。

一般入試

1. 募集人員

第1学年 男子260名(帰国生18名を含む)
※帰国生として出願する場合には、事前に「帰国生出願資格認定申請」が必要。

2. 出願資格

2020年3月中学校を卒業見込みの者、および2019年3月中学校を卒業した者。

3. 入試日程

| | | |
|------------|----------------------------|--|
| 出願期間 | 2020年 1月25日(土)～1月30日(木) | WEB出願サイトにて登録・出願のうえ、日本国内から簡易書留郵便にて出願書類郵送【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2020年 2月11日(火・祝) | 筆記試験(英語・国語・数学・小論文) 早稲田大学・早稲田キャンパス |
| 合格者発表日 | 2月15日(土) | 発表方法 早稲田大学WEBサイト |
| 入学手続き書類交付日 | 2月16日(日) | 高等学院 書類交付会場 |
| 入学手続日 | 2月17日(月) | 高等学院 入学手続会場 |

海外帰国生の受け入れ

高等学院では1988(昭和63)年から帰国生の受け入れを積極的に行っています。異文化における生活を体験した帰国生が、一般生徒と同じクラスで学ぶことで、相互に啓発しあい、より豊かな価値観や人間観を持つことが期待されています。帰国生枠で一般入学試験を出願する場合には、11月1日(金)～11月30日(土)の期間に「帰国生出願資格認定申請」手続きが必要になります。詳細については、高等学院WEBサイトをご確認ください。

※帰国生出願資格認定者の入試日程・内容等は、一般入試(一般出願者)と同一(上記3参照)です。

各種統計

入学試験結果

一般入試

| 年度 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 実質倍率 |
|------|------|-------|-------|------|------|
| 2019 | 260 | 1,841 | 1,427 | 546 | 2.61 |
| 2018 | 260 | 1,913 | 1,495 | 563 | 2.66 |
| 2017 | 260 | 1,747 | 1,304 | 573 | 2.28 |

出身中学校所在地別の入学者数

| 年度 | 東京都 | 埼玉県 | 神奈川県 | 千葉県 | 他府県 | 外国 | 合計 |
|------|-----|-----|------|-----|-----|----|-----|
| 2019 | 313 | 65 | 48 | 24 | 17 | 25 | 492 |
| 2018 | 308 | 58 | 50 | 42 | 6 | 19 | 483 |
| 2017 | 309 | 50 | 58 | 31 | 11 | 28 | 487 |

※東京都と合計欄には、高等学院中学部からの進学者が(2019年度)123・(2018年度)123・(2017年度)120名含まれる。

2020年度 中学入試概要

※詳細は入学試験要項をご覧ください。

一般入試

1. 募集人員

第1学年 男子120名

2. 出願資格

2020年3月小学校を卒業見込みの者。

3. 入試日程

| | | |
|------------|----------------------------|---|
| 出願期間 | 2020年 1月17日(金)～1月19日(日) | WEB出願サイトにて登録・出願のうえ、日本国内から簡易書留郵便にて出願書類の郵送【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2020年 2月1日(土) | 筆記試験(国語・算数・社会・理科)と面接 高等学院校舎 |
| 合格者発表日 | 2月3日(月) | 高等学院 掲示板 |
| 入学手続き書類交付日 | | 高等学院 書類交付会場 |
| 入学手続日 | 2月4日(火) | 高等学院 入学手続会場 |

自己推薦入試

1. 募集人員

第1学年 男子約100名

2. 出願資格

- ・高等学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。
- ・2020年3月中学校を卒業見込みの者。
- ・中学校3年次第2学期の学期成績が、9教科合計(5段階評価)で40以上の者。
- ・3年間の欠席合計が30日以内の者。

3. 入試日程

| | | |
|------------|----------------------------|--|
| 出願期間 | 2020年 1月15日(水)～1月16日(木) | WEB出願サイトにて登録・出願のうえ、日本国内から簡易書留郵便にて出願書類郵送【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2020年 1月22日(水) | 出願者全員に面接 高等学院 |
| 合格者発表日 | 1月23日(木) | 高等学院 合格者発表会場 |
| 入学手続き書類交付日 | | 高等学院 書類交付会場 |
| 入学手続日 | 1月24日(金) | 高等学院 入学手続会場 |

自己推薦入試で求める生徒像

- ①学問・勉学を大切に思い、日々の勉学において自己の進歩や新たな発見に喜びを見いだせる生徒。
- ②自ら興味の対象を持ち、それに打ち込み、学業との両立に積極的に取り組むことのできる生徒。
- ③グループ活動に進んで参加してリーダーシップを発揮できる生徒。
※自己推薦入試で不合格となった場合でも、他の受験生と全く同じ条件で一般入試を受験することができます。

自己推薦入試

| 年度 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 実質倍率 |
|------|------|------|------|------|------|
| 2019 | 約100 | 249 | 249 | 103 | 2.42 |
| 2018 | 約100 | 257 | 255 | 101 | 2.52 |
| 2017 | 約100 | 305 | 304 | 104 | 2.92 |

出身小学校所在地別の入学者数

| 年度 | 東京都 | 埼玉県 | 神奈川県 | 千葉県 | 他府県 | 外国 | 合計 |
|------|-----|-----|------|-----|-----|----|-----|
| 2019 | 90 | 15 | 4 | 12 | 1 | 0 | 122 |
| 2018 | 93 | 15 | 2 | 10 | 0 | 2 | 122 |
| 2017 | 94 | 16 | 6 | 7 | 1 | 0 | 124 |
| 2016 | 99 | 13 | 3 | 8 | 0 | 1 | 124 |
| 2015 | 94 | 13 | 7 | 7 | 2 | 0 | 123 |

学費等(参考:2019年度)

| | 1年 | | 2年 | | 3年 | |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 入学時 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 |
| 入学金 | 260,000 | | | | | |
| 授業料 | 342,000 | 342,000 | 366,000 | 366,000 | 384,000 | 384,000 |
| 教育環境整備費 | 114,000 | 114,000 | 114,000 | 114,000 | 114,000 | 114,000 |
| 実験実習料 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 |
| 生徒会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| 日本スポーツ振興センター共済掛金 | 1,500 | | 1,500 | | 1,500 | |
| 合計 | 731,500 | 463,000 | 495,500 | 487,000 | 513,500 | 505,000 |

奨学金制度

大学および高等学院が独自に設置する学内奨学金、地方公共団体による奨学金、民間団体による奨学金があります。特に、学内奨学金は返還不要の給付奨学金です。

1. 学内奨学金(2019年度募集、すべてが返還不要の単年度給付型)

| 奨学金名称 | 支給額 | 対象学年 | 人数 | 選考基準 |
|---------------|------------|------|-------|---------------------|
| 大隈記念奨学金 | 年額400,000円 | 2・3年 | 各学年2名 | 学業成績を重視 |
| 小野祥記念奨学金 | 年額300,000円 | 全学年 | 19名 | |
| 校友会給付一般奨学金 | 年額300,000円 | 全学年 | 6名 | 家計状況を重視 |
| 早稲田カード奨学金 | 年額300,000円 | 全学年 | 3名 | |
| 早大生協給付奨学金 | 年額300,000円 | 全学年 | 1名 | |
| 高等学院奨学金(一般) | 年額300,000円 | 全学年 | 4名以内 | 家計急変時(主たる家計支持者の死亡等) |
| 高等学院奨学金(家計急変) | 採用時期により決定 | 全学年 | 随時決定 | |
| 高等学院同窓会給付奨学金 | 半期授業料相当額 | 全学年 | 随時決定 | |

2. 学外奨学金(地方公共団体・民間団体)

対象・募集時期・金額等は団体により異なります。
 2018年採用実績団体数:(地方)5団体(民間)2団体

学校概況

高校

| | |
|----------|-----------------|
| 生徒数(全学年) | 1,480 |
| 学級数 | 36クラス(各学年12クラス) |

※学級は、第二外国語により編成され、1年次～3年次まで変わりません。

| 教職員数 | | | 校地・施設面積(m) | |
|-------|-------|-------|------------|-----------|
| 教諭 86 | 講師 93 | 職員 20 | 校地 59,945 | 施設 25,940 |

※高等学院には、生徒寮(施設)はありません。
 ※教職員数、校地・施設面積は中学・高校共通。

中学

| | |
|----------|----------------|
| 生徒数(全学年) | 367 |
| 学級数 | 12クラス(各学年4クラス) |

入試要項(願書)の入手方法

早稲田大学高等学院WEBサイトよりダウンロードできます。

入試要項(願書)の公開開始予定日

2019年9月22日(日)

※2020年度入試より、入試要項(願書)の販売は行いません(高等学院窓口販売・郵送販売を含む)ので、ご自宅等でWEBサイトからダウンロード・印刷してください。

※ご自宅等でダウンロード・印刷ができない場合は、お問合せください。

出願から入学手続までの流れ

